

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院
 〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
 TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
 地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



診療科紹介 | 婦人科では骨盤臓器脱の診療に力を入れています

近年、従来からある子宮脱・膀胱脱・直腸脱・膣脱などの疾患群を総称して**骨盤臓器脱**と呼ぶようになりました。

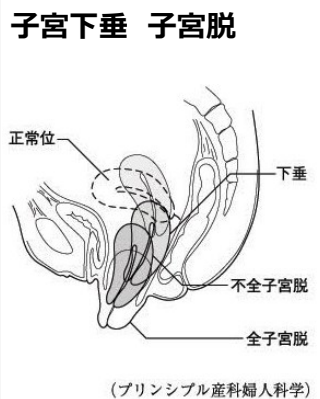
入浴時や排泄時に膣の入り口に何かをふれた経験はありませんか？頻尿、尿が出にくい、排尿後もすっきりしない、尿漏れなどは気になりませんか？これらは骨盤臓器脱になった女性たちが病院を受診した主な理由です。何か悪いものでも出来たのではないかと心配されて受診する方、自覚症状があっても誰に相談していか分からずに長年辛抱されていた方、症状から泌尿器科などを受診されていた方など受診までの経緯も様々です。



骨盤内にある臓器（膀胱・子宮・直腸・小腸）などが膣管という空間に徐々に下がってきますが、これらが膣の中に収まっているうちはなかなか気が付かれず、膣口や外部にまでふくらみが出てきてからようやく発見されるといった経過が一般的です。出産時の赤ちゃんが産道を通る際にこれら骨盤臓器を支持する靭帯群を損傷してしまったことが主な原因とされていますが、先述したように産後すぐには発症せず、加齢による姿勢の変化や肥満などが加わるようになる中高年以降に徐々に発症します。したがって、出産経験のある女性なら誰にも起こりうる疾患とも言えます。

治療方法は、**骨盤底筋体操による訓練療法**のほか、ペッサリーと呼ばれる**膣内装具**や**手術**により骨盤内臓器の位置矯正を図ります。ペッサリー療法中、膣壁潰瘍や穿孔に注意する必要があり、通常3か月毎に通院を要します。また、性器出血やおりものといった症状を伴いますので子宮がんなど悪性疾患との鑑別をするため定期的ながん検診も必要となります。

一方、手術療法には**自身の靭帯再建術を行う従来法**と近年普及した**メッシュ法**と呼ばれるシート状の非吸収性人工物を骨盤底に挿着する新しい手術法があります。メッシュ法はフランスで開発され欧米などを中心に世界的に普及し、その症例数が急増していますが、残念ながら海外においては合併症も相当数報告されるようになりました。手術後何か問題になった時、一度装着したメッシュを再手術で除去するのは極めて困難であることにも注意が必要です。これらを背景に米国内ではFDA（アメリカ食品医薬品局）から過去に2回も注意勧告が出され、メッシュ製造メーカーによる製品の使用中止の申し入れがなされる事態にまでなりました。数年前当科でも一時的にメッシュ法も取り入れましたが、こうしたメッシュ手術の特性を実際に経験し、**当科では現在 従来法を第1選択としています。**



従来法では子宮を固定していた靭帯群を単離し、これらを再連結し縫縮することを主目的にしており、結果的に子宮を摘出することになりますが、罹患年齢上、子宮摘出によるデメリットはほとんどなく、むしろ癌年齢において子宮がんの心配がなくなるなどのメリットがあります。

再建した靭帯群に膀胱や直腸周囲の支持組織に加え、膣壁を縫い付けることで、これらの臓器が新たに靭帯群により支持されてその脱出を防止します。自分自身の靭帯をもちいた再建術ですので、一定の割合で靭帯の再伸展による再脱出の問題がありますが生活上問題になることは少なく、仮に再手術になった場合には別の膣閉鎖術法により臓器の脱出を矯正できます。また、問題となっているメッシュ挿入に伴う特徴的な慢性疼痛・感染症・メッシュの体外露出などが起こらないため、歴史的にも裏付けられた**安全な手術**と言えます。

当科では**従来法を約60分程度で施術**できますし、**入院期間は9日間**です。術後の女性たちの感想として多いのは、歩きやすくなった、姿勢がよくなった気がする、腰痛やひざの痛みが軽減した、長時間トイレに行かなくてもよくなった、尿がすっきり出るようになったなどです。このように、**手術により格段に生活が楽で便利になりますので骨盤臓器脱の症状でお悩みの方は是非当科にご相談ください。**

婦人科《女性の総合診療科》 部長 清河 薫 (日本産科婦人科学会専門医)



臨床工学技士は、人の呼吸、循環、代謝の生命につながる機能を代行する装置、すなわち生命維持管理装置の操作を行っています。また安全に使用できるように保守点検を行っています。

しゅな業務は、チーム医療の一員として医療機器管理室での保守点検業務、内視鏡検査室での介助業務、血管内治療室での検査・治療に使用する医療機器の操作・保守点検業務、人工呼吸器の操作・保守点検業務などを行っています。安心・安全な医療が提供できるよう日々、業務に取り組んでいます。

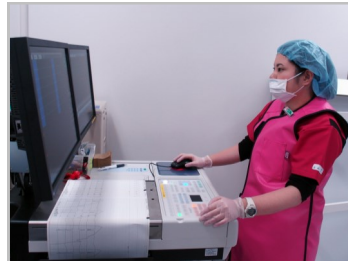
参考) 公益社団法人 日本臨床工学技士会 <http://www.ja-ces.or.jp/ce/>



臨床工学技士



人工呼吸器管理



カテーテル検査におけるモニタリング



医師の治療の清潔介助



第3回 緑区医療連携シンポジウムに参加

「第3回 緑区医療連携シンポジウム」(主催：在宅ケアみどりネットワーク、共催：緑区医師会訪問看護ステーション・緑区在宅医療相談室)が開催され、6階東病棟 堀 優子看護係長(写真 左)がパネリストとして参加しました。



緑区では在宅医療の連携を強化させるために、医師、訪問看護師、ケアマネージャーなど多職種が集まる会合が定期的開催されています。今回は「がん患者における在宅へのシームレスな退院支援について」をテーマに、会場全体で活発に意見交換が行われました。当院からはパネリストの他にも職員8名が参加し、退院支援・地域連携について理解を深めることができました。

急性期病院として今後も積極的に地域との連携を図り、地域医療に貢献してまいります。



献血ご協力のお願い 日時 8月25日(火) 10:00~16:00 場所 当院分室横

当院に献血車が来ます。今回は、200ml、400mlの献血ができます。近隣の皆様も、是非ご協力をお願い致します。
協賛 横浜みどりライオンズクラブ 日本赤十字社 献血ホームページ www.jrc.or.jp/donation/



地域の皆さまと共に 第14回 ふれあいバザー開催 9月13日(日) 10:30~13:00

- 場所 当院 駐車場 ● ゲスト 大道芸(ジャグラー) つねむねさん
- 模擬店 たこ焼・焼き鳥・から揚げ・枝豆・かき氷・カレー・焼きそば・ビール・お茶・ジュース
- バザー 今年も掘り出し物がたくさん! ● 協賛 横浜みどりライオンズクラブ
- 途上国の子ども達にワクチンを贈るエコキャップ運動(ペットボトルキャップ収集)も行います



ジャグラー つねむねさん

平成27年 みんなの健康講座 主催：横浜新緑総合病院 ※参加費無料

9月19日(土) 「健康寿命の延伸」 -日々の健康管理と定期的な健診の重要性-

8月の講座はお休みです

講師 医療法人社団 三喜会 副理事長 桐田 孝史

楽しく元気に毎日を過ごすためには日々の健康管理が大切です。病気を未然に防ぐための生活習慣や定期健康診断による病気の早期発見治療の重要性についてわかりやすく解説します。

10月17日(土) シリーズ糖尿病 第16回 「身体も心もリフレッシュ 運動で予防しよう! 生活習慣病」

十日市場地区センター 2階中会議室 (十日市場駅より徒歩5分) 時間 午後1時30分~2時30分
お問合せ 地域医療連携室 045-984-6216 (直通) 045-984-2400 (代表)

当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>